

あしべつ

# 社協だより

第124号

令和7年3月1日発行



上芦別小学校4年生「総合的な学習の時間・手話体験」



## 社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会

〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地 芦別市総合福祉センター  
TEL (0124) 22-2194 FAX (0124) 22-5466  
E-MAIL [ashi-sya@indigo.plala.or.jp](mailto:ashi-sya@indigo.plala.or.jp) (社会福祉協議会事務局)  
[kaigo-go@zpost.plala.or.jp](mailto:kaigo-go@zpost.plala.or.jp) (訪問介護ステーション)

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金によって発行しています。





# 令和6年度 赤い羽根共同募金実績

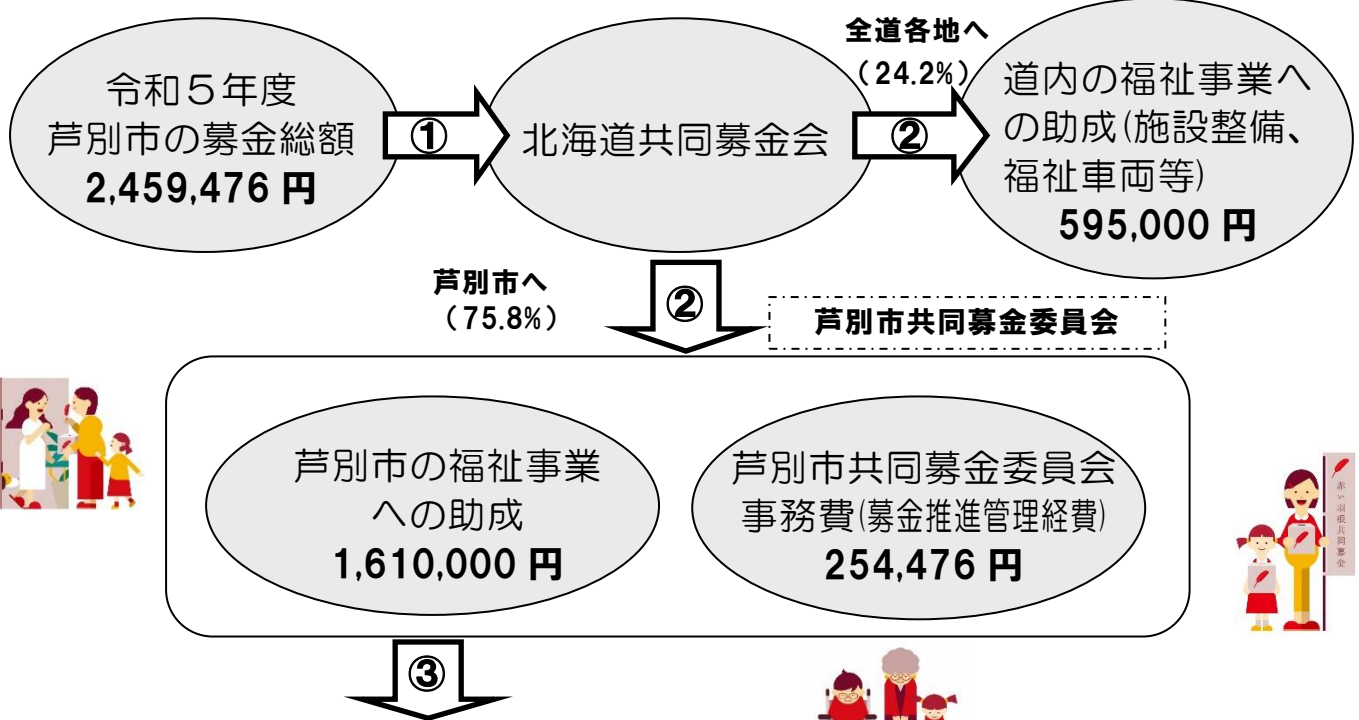
(実施期間：令和6年10月1日～12月31日)

戸別募金  
1,423,468円  
大口募金  
(個人大口・法人大口)  
441,000円

令和6年度の募金総額  
**2,366,975円**  
※この募金は令和7年度に助成されます。

街頭募金  
240,709円  
特殊募金  
261,798円

令和5年度の募金は下記の流れで助成されました。(令和6年度に助成)



【各事業への助成内訳】		
高齢者のために 430,000円	障がい児・者のために 255,000円	児童・青少年のために 180,000円
ボランティア支援のために 340,000円	更生保護活動のために 75,000円	広報発行のために 330,000円



街頭募金出発式  
(10月1日)



街頭募金の様子  
(10月1日～10日)



芦別高校様  
(12月18日)



# 令和6年度 歳末たすけあい募金実績

(実施期間：令和6年12月1日～12月31日)

戸別募金  
874,150円  
大口募金  
(個人大口・法人大口)  
442,000円

令和6年度の募金総額

**1,585,051** 円

※この募金は令和6年度及び  
令和7年度に助成されます。

特殊募金  
268,901円

令和5年度の募金は下記の流れで助成されました。  
(令和5年度及び令和6年度に助成)



## 【各事業への助成内訳】

市内の低所得世帯等への見舞金として (令和5年度に助成)	951,000円
ひとりぐらし高齢者支援事業への助成として (令和6年度に助成)	360,000円
福祉施設・福祉団体への助成として (令和6年度に助成)	320,000円



芦別市社会福祉協議会  
より芦別市の福祉事業  
への助成

## 歳末たすけあい募金助成団体 活動の一コマ



市内18の単位町内会  
「ひとりぐらし高齢者支援事業」



芦別市手をつなぐ育成会  
「クリスマス集会」



# 総合的な学習の時間～福祉を学ぶ～ 「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに

## 【上芦別小学校4年生】



手話体験 (9月11日)



妊婦体験 (9月27日)

## 【芦別小学校6年生】



アイマスク歩行体験 (12月9日)



認知症サポーター養成講座 (1月28日)



赤い羽根共同募金について (1月28日)

### 令和6年9月～令和7年1月

市内2小学校の総合的な学習の時間において、市内で活動するボランティア団体や芦別市健康推進課保健師、本会職員が講師となり福祉に関する様々な体験や学習を行いました。

それぞれの体験において児童の皆さんの真剣に取り組む姿勢が見受けられ、助け合って共に生きる社会について考えるきっかけとなりました。

## 令和6年度 認知症市民講座 「人と認知症の理解」～人と認知症と向き合うために～



令和6年12月13日（金）

令和6年度認知症市民講座が開催され50名の方が参加しました。

講師に有限会社グッドライフ代表取締役総合施設長の宮崎直人氏（北海道グループホーム協会会長）をお招きし、宮崎氏のこれまでの実践から考える、人と認知症との向き合い方について学びました。

認知症ケアにおいて、認知症にばかり焦点を当てがちになりますが“認知症”と“人”を分け“その人自身”としっかりと向き合う事の大切さについて学ぶ時間となりました。

## 子育てサロン クリスマス会

令和6年12月20日（金）

道営住宅緑幸団地集会所において芦別市子育て支援センター、ぬくもりの会ボランティアの協力により子育てサロンクリスマス会が開催されました。

小学校就学前の子どもと保護者が参加しダンスや工作などを行い楽しみました。最後にはサンタクロースが登場し子どもたち一人ひとりプレゼントが手渡され、子どもたちの笑顔あふれるクリスマス会となりました。



子どもたちの工作  
「ペットボトルでサンタとトナカイ」



ぬくもりの会ボランティアによる  
前日準備（会場装飾）

## 北海道コカ・コーラボトリング(株)様より寄贈いただいた清涼飲料水を市内福祉施設等へ贈呈いたしました。



令和6年11月26日(火)

北海道コカ・コーラボトリング(株)滝川営業課様よりコカ・コーラ社製清涼飲料水240本の寄贈をいただきました。

北海道コカ・コーラボトリング(株)様は社会貢献活動の一環として、クリスマス時期に合わせ北海道内の社会福祉施設等へ昭和43年から製品を寄贈されており、今年で57回目となります。

贈呈された清涼飲料水は芦別市社会福祉協議会を通じ市内の福祉施設へ贈呈します。

令和6年12月12日(木)、16日(月)

北海道コカ・コーラボトリング(株)滝川営業課様より寄贈をいただいたコカ・コーラ社製清涼飲料水を市内の福祉施設に贈呈いたしました。

贈呈を受けた施設・団体の方は大変喜ばれていました。



芦別みどり幼稚園様



(社福)愛和福祉会様



きっぴていくあしべつ様

## 全国社会福祉協議会会長表彰 受賞おめでとうございます。

令和7年1月21日(火)

令和6年度全国社会福祉協議会会長表彰(民生委員・児童委員功労表彰)を受賞された野呂歌子さんへ本会竹原会長より表彰状と記念品が伝達されました。

野呂さんは民生委員児童委員に委嘱以来22年の永きに亘り地域の身近な相談相手として、支援を必要とする方と行政や専門機関をつなぐパイプ役としてご活躍されています。

また民生委員児童委員の活動以外にも町内会福祉部を母体とする高齢者ふれあいサロンの立ち上げに奔走され現在も良きリーダーとしてご活躍されており、これらの功績が認められ受賞されました。受賞おめでとうございます。



(左から竹原会長、野呂さん、松井民児協会会長、林民児協事務局長)

## 会員の皆さまに支えていただいております。

日頃、社会福祉協議会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会の事業は、皆様方からお寄せいただいた会費等により地域福祉の推進に努めております。本会の趣旨にご賛同いただいた方に対しまして厚くお礼申し上げます。



令和6年7月6日～令和7年2月3日（敬称略）

第2号会員（1,000円）		1口	片山 勝二	1口	西 英昭	50口	芦別市役所ミスナラ会
1口	池内 巖		鈴木 敏昭		平井 宣行	第4号会員（3,000円）	
	(有)一カ商店		中川 隆弘		富士川 伝教	1口	増田商店
	小畑 陽彦		長沢 友夫	5口	永田 守男		

## 愛情銀行へのあたたかい善意ありがとうございます。

	氏名	金額（円）	摘要
現金	精神障がい者回復者クラブ 「亜志の会」様	30,673	解散のため
	池田 博夫 様	30,000	社会福祉事業へ

	氏名	摘要
物品	北海道コカ・コーラボトリング(株) 滝川営業課 様	清涼飲料水 240本

## 芦別市社会福祉協議会 会員募集しています！！

福祉のニーズが多様化する中で、民間の福祉団体として住民参加による独自の事業を展開していくため、社会福祉協議会の活動内容や運営に賛同していただける皆様のご協力を呼び掛けています。

**第1号会員（一般会員） 200円**

（町内会を通じて1世帯200円を納入していただいております。）

**第2号会員（賛助会員） 1,000円（個人）**

**第3号会員（施設会員） 2,000円（社会福祉施設）**

**第4号会員（特別会員） 3,000円（企業・団体等）**

（第2号～第4号会員については、随時事務局で受け付けています。）

募集中!

芦別市社会福祉協議会 訪問介護ステーション

# ホームヘルパー(介護パート職員)

採用人数 1名

採用予定日 令和7年4月1日

資格要件 ① 介護福祉士又は介護職員初任者研修修了者(ホームヘルパー2級以上)  
② 普通自動車免許(AT限定可)

勤務内容 訪問介護サービス、居宅介護サービスなど

雇用期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで(更新する場合あり)  
※試用期間2週間程度あり

勤務時間 1週間あたり20時間程度  
※短時間、副業も可能です。週1回以上、曜日、時間帯等ご相談ください。

賃金 時給1,070円~1,100円  
資格手当、特別手当(年3回)

社会保険 雇用保険、労働保険

その他 個人自動車借上げ制度あり、制服貸与

提出書類 履歴書(市販)、資格免許証の写し

選考方法 書類審査及び面接

問合せ先 芦別市社会福祉協議会(総務係) ☎0124-22-2194



## 終活セミナー開催しました

令和6年9月19日(木)

これまでの人生の振り返りとこれからの人生を大切な方々と一緒に考えるきっかけとなるエンディングノート。令和5年4月に芦別市介護高齢課が作成した『芦別市エンディングノート』について、芦別市介護高齢課地域包括支援係 半場大介 係長を講師にお招きし、記入方法やその活用法について学びました。

家族や信頼できる方々に大切な自分の想いを遺すために、参加した21名の方は講師の話に耳を傾けていました。この終活セミナーは皆さまからお寄せいただいた芦別市社会福祉協議会愛情銀行への寄付金を活用して開催しております。

## 編集後記

着用者が増えてきているスマートウォッチ。自分も着用歴が10年を超え体の一部となっていていま。現在はランナー向けのウォッチを使用しており、その中に「睡眠スコア」という機能があります。睡眠時間や睡眠の質が点数化され起床時に評価・通知されるといったもの。飲み会など深酒をした日は睡眠時間を確保しても必ず低評価になります。二日酔いで辛い中、低評価を突き付けられお酒の飲み方を反省しながらもなかなか改善できない私なのでした。(き)